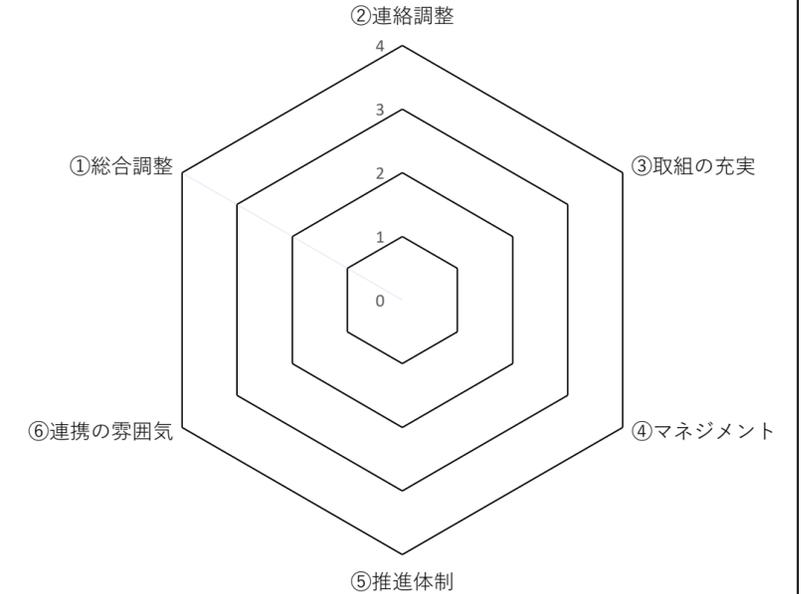


# 地域連携教員の活動充実のためのチェックリスト(井上先生 考案)

地域連携教員としてこれまで行ってきたことや学校の状況	空欄に当てはまる状況を記入してください。 1：当てはまる 0.5：やや当てはまる 0：当てはまらない					
例) 地域連携教員に指名されている		1				
1 地域連携に関する校長の方針が明確になっている						
2 地域連携に関する研修会を実施している						
3 プログラムの充実のための助言を行っている						
4 地域連携の調整をチーム（複数名）で進めている						
5 地域コーディネーターが設置されている						
6 地域人材を教員に紹介している						
7 より良い連携活動となるように改善に努めている						
8 地域連携に関する情報収集や発信を行っている						
9 地域連携の意義について理解している教員が多い						
10 連携活動の進め方について他の教員に助言している						
11 管理職が地域連携を進めていこうとする意志が強い						
12 より良い連携先等を助言している						
13 地域連携全体計画を作成している						
14 連携活動の効果をアンケート等で評価している						
15 地域連携を進めていこうという教員が多い						
16 連携活動の実施状況の把握に努めている						
17 参加型学習の導入を支援している						
18 地域連携の教員の要望を集約している						
19 地域連携教員が活動しやすい環境になっている						
20 教育課程への地域連携活動の位置づけを検討している						
21 連携活動の年間スケジュールを作成している						
22 地域連携教員が組織的に位置づけられている						
23 協力者との打ち合わせの機会を作っている						
24 自分自身が地域連携活動を進める意欲がある						
縦に数字を足し合わせて記入してください	①	②	③	④	⑤	⑥

## チェックリストの使い方

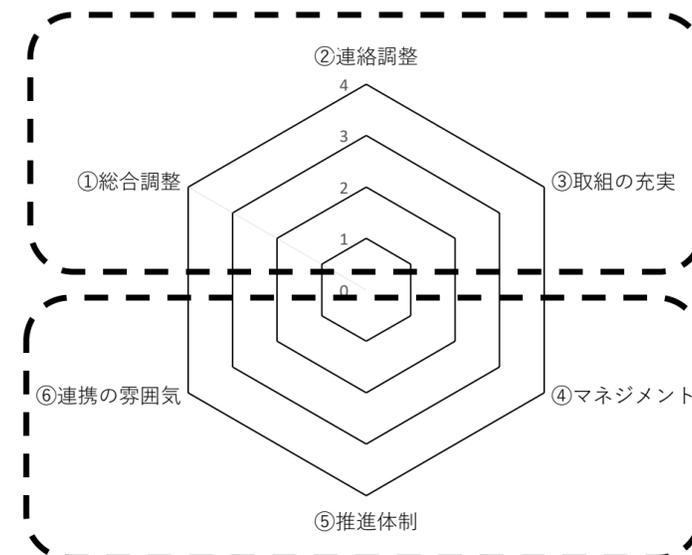
- (1) 左表の24項目について、当てはまる状況（数字）を空欄に記入する。
- (2) 数字を縦に合計し、①～⑥の欄に記入する。
- (3) 左表①～⑥欄の数字を、右のレーダーチャート①～⑥それぞれの頂点に反映させる。  
例えば、左表①の数字が「1」の場合、レーダーチャート「①総合調整」の「1」の頂点に点をうつ。
- (4) 点同士を線で繋ぐ。



## 資料の分析について

- ◇ レーダーチャートの凹凸から、事項における活動状況を客観的に見ることができます。数値の低い部分を意識しながら、計画の見直しをしましょう。
- ◇ 下図のように、チャート図上部の①～③からは「地域連携教員としての活動状況」が、下部の④～⑥からは「地域連携に関する学校の状況」が見えるようになっています。  
チャートが上に伸びているのか、下に伸びているのかによっても、改善に向けたアプローチが違ってきます。

## 地域連携教員としての活動状況



## 地域連携に関する学校の状況